

2024年度事業報告書

2024年4月1日より2025年3月31日まで

公益財団法人 窓研究所

I. 事業活動

公1 建築文化に関する助成事業

(ア) 研究助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある研究を募り、その研究活動へ助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、計画上採択予定数が11件でしたが、興味深いテーマが数多くあり、予算内において13件を採択し助成金を支給いたしました。

また、助成研究成果公表の場として、研究報告会を4月20日に開催いたしました。

CCA（カナダ建築センター）への研究者派遣事業は、第3期採択者3名のフェローを7月から9月に派遣し、これを以って第一期を終了いたしました。この機会にCCAを訪問し、研究成果の総括と、第二期へ向けての方向性や共同体制について検討会を行って参りました。

(イ) 出版助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある国内未刊行の書籍・図画を募り、その出版への助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、計画3件のところ予算内で5件を採択いたしました。また、2022年度に採択した2案件が出版となり、助成金を支給いたしました。

(ウ) 文化活動助成（公募）

建築文化に関連する領域にて、新規性、独創性が高く、学術的、社会的に広がりのある展覧会、講演会、シンポジウム等を募り、その活動への助成を行うことで、建築文化の発展と振興を総合的に促進することを目的といたします。今年度は、計画3件に対し予算内で4件を採択し、助成金を支給いたしました。

公2 建築文化に関する普及啓発事業

(ア) 展覧会等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、展覧会等を開催いたします。展覧会等は不特定多数に向けた社会性を意識した建築文化への興味を高める内容とし、必要に応じ、展覧会期間中に、ワークショップや講演会等を開催するとともに、他の公益財団法人・独立行政法人等とも連携するなどして、広く普及啓発を行います。

2023年8月に『WINDOWOLOGY』展が終了したため、今年度は企画活動中心とし、新たな催事は行わない予定でしたが、開催側からの要望に急遽応えるかたちで、国立近現代建築資料館の「堀口捨己展（24/8～10月）」と国立新美術館の「リビング・モダニティ 住まいの実験（25/3～25/6月）」に出展することになりました。

(イ) 講演会、シンポジウム等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、講演会、シンポジウム、トークイベント、研究報告会等を開催いたします。講演会等は不特定多数に向けた、より専門的な知識や思考を深める内容とし、必要に応じ、他の公益財団法人・独立行政法人等と連携し、意識の高い方々の主体的な参加を促すことで普及啓発を行います。

今年度は、過去から手掛けていた研究テーマを中心に、3つのシンポジウムを開催いたしました。

まず、当所とCCA、九州大学の共同で昨年より整備している葉祥栄アーカイブに焦点を当て、窓の重要な要素である「光」をテーマにしたシンポジウムを九州大学と共同で行いました。同じく昨年度から手掛けていた「東アジアの窓」というテーマに関しても、東京大学、南京工業大学のお力を借りて、11月に南京工業大学にて国際研究集会を行いました。また、スイス連邦工科大学の貝島桃代教授が、当所との共同研究をまとめて刊行した書籍「Swiss Window Journeys」の周知と理解を目的に、トークイベント形式のシンポジウムをスイス大使館の後援をいただき、開催しました。

(ウ) 各種媒体による情報発信等

建築文化に関わる芸術および学術分野の発展と普及啓発を図ることを目的として、建築文化に関連する幅広い知見や調査研究結果の公表等を、国内外へ向け適切な手段を用いつつ、継続的に情報発信し提供することで、より幅広い方々への普及啓発を行いました。

(a)・ホームページ、SNS、ニュースリリース、メールマガジン等電磁的方法による情報発信を行いました。

・窓に関連する新規記事を発信。年間32件を配信いたしました。
(インタビュー／コラム／リサーチ)

(b)・窓学関連の書籍出版のための準備を行いました。

(c)・他団体の出版、文化活動等に対する協賛等は案件がありませんでした。

(d)・その他普及啓発に必要な広報活動等を随時行いました。

(エ) 調査等

建築文化に関わる芸術および学術分野の情報提供のため、社会ニーズを踏まえた各種情報の収集および調査を行います。情報収集および調査テーマについては近年の傾向や社会的な需要があるものを設定いたします。

- ・「窓の事例集」「窓の用語集」のデータベースに情報追加を行いました。
- ・「窓の格言」のアーカイブを新たに立ち上げました。
- ・「窓の基礎データ」の研究報告会を3月に行いました。
- ・「庭園と窓」を新たな研究テーマとして着手しました。

II. 管理活動

1 理事会に関する事項

- 2024年 5月14日 第26回 定時理事会の実施(書面決議)
- 2024年 6月10日 第27回 臨時理事会の実施(書面決議)
- 2024年 8月 7日 第28回 臨時理事会の実施(書面決議)
- 2025年 3月19日 第29回 定時理事会の実施

2 評議員会に関する事項

- 2024年 6月 3日 第11回 定時評議員会の実施

以 上

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2025年6月30日

公益財団法人窓研究所財務諸表に対する注記

貸借対照表

2025年3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金			
普通預金	11,157,790	6,773,202	4,384,588
当座預金	6,890,160	5,599,631	1,290,529
貯蔵品	16,280	14,326	1,954
流動資産合計	18,064,230	12,387,159	5,677,071
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
預金			
普通預金	50,961,109	49,537,868	1,423,241
当座預金	1,199,663,126	657,577,415	542,085,711
投資有価証券	198,470,000	200,614,000	△ 2,144,000
特定金銭信託	5,406,451,871	5,397,636,419	8,815,452
基本財産合計	6,855,546,106	6,305,365,702	550,180,404
(2) 特定資産			
什器備品	4,311,957	6,601,026	△ 2,289,069
ソフトウェア	5,025,167	8,374,977	△ 3,349,810
建物付属設備	2,841,553	3,176,471	△ 334,918
特定資産合計	12,178,677	18,152,474	△ 5,973,797
(3) その他固定資産			
什器備品	325,129	604,622	△ 279,493
その他の固定資産合計	325,129	604,622	△ 279,493
固定資産合計	6,868,049,912	6,324,122,798	543,927,114
資産合計	6,886,114,142	6,336,509,957	549,604,185
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,920,382	12,202,228	5,718,154
預り金	143,848	184,931	△ 41,083
流動負債合計	18,064,230	12,387,159	5,677,071
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	18,064,230	12,387,159	5,677,071
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	6,867,724,783	6,323,518,176	544,206,607
指定正味財産合計	6,867,724,783	6,323,518,176	544,206,607
(うち基本財産への充当額)	(6,855,546,106)	(6,305,365,702)	(550,180,404)
(うち特定資産への充当額)	(12,178,677)	(18,152,474)	(△ 5,973,797)
2. 一般正味財産			
325,129	604,622	△ 279,493	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	6,868,049,912	6,324,122,798	543,927,114
負債及び正味財産合計	6,886,114,142	6,336,509,957	549,604,185

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金振替額	188,249,725	178,787,923	9,461,802
経常収益計	188,249,725	178,787,923	9,461,802
(2) 経常費用			
①. 事業費	148,348,928	146,734,622	1,614,306
助成事業費	70,404,810	73,188,402	△ 2,783,592
普及啓発事業費	63,637,651	60,746,600	2,891,051
事業共通費	14,306,467	12,799,620	1,506,847
②. 管理費	40,180,290	37,384,454	2,795,836
経常費用計	188,529,218	184,119,076	4,410,142
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 279,493	△ 5,331,153	5,051,660
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 279,493	△ 5,331,153	5,051,660
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金振替額	0	1,723,447	△ 1,723,447
支払助成金返還額	0	1,231,636	△ 1,231,636
精算金	0	800,000	△ 800,000
経常外収益計	0	3,755,083	△ 3,755,083
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1,723,447	△ 1,723,447
経常外費用計	0	1,723,447	△ 1,723,447
当期経常外増減額	0	2,031,636	△ 2,031,636
当期一般正味財産増減額	△ 279,493	△ 3,299,517	3,020,024
一般正味財産期首残高	604,622	3,904,139	△ 3,299,517
一般正味財産期末残高	325,129	604,622	△ 279,493
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	500,000,000	500,000,000	0
基本財産運用益			
基本財産運用益	277,335,748	46,792,725	230,543,023
受取利息	337,177	176,961	160,216
基本財産評価損益等	△ 45,216,593	392,196,962	△ 437,413,555
一般正味財産への振替額	△ 188,249,725	△ 180,511,370	△ 7,738,355
当期指定正味財産増減額	544,206,607	758,655,278	△ 214,448,671
指定正味財産期首残高	6,323,518,176	5,564,862,898	758,655,278
指定正味財産期末残高	6,867,724,783	6,323,518,176	544,206,607
III 正味財産期末残高	6,868,049,912	6,324,122,798	543,927,114

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

…決算時の市場価格等に基づく時価法を採用しております。

市場価格のない株式等

…個別法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及びソフトウェアについては、定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

税込方式によっております。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(1) 基本財産				
預金				
普通預金	49,537,868	2,024,375	601,134	50,961,109
当座預金	657,577,415	662,969,140	120,883,429	1,199,663,126
投資有価証券	200,614,000	100,000,000	102,144,000	198,470,000
特定金銭信託	5,397,636,419	823,575,725	814,760,273	5,406,451,871
小計	6,305,365,702	1,588,569,240	1,038,388,836	6,855,546,106
(2) 特定資産				
什器備品	6,601,026	0	2,289,069	4,311,957
ソフトウェア	8,374,977	0	3,349,810	5,025,167
建物付属設備	3,176,471	0	334,918	2,841,553
小計	18,152,474	0	5,973,797	12,178,677
合計	6,323,518,176	1,588,569,240	1,044,362,633	6,867,724,783

(注) 当期増加額及び当期減少額は、基本財産内部及び特定資産内部の増減を除いております。

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)
(1) 基本財産			
預金			
普通預金	50,961,109	50,961,109	0
当座預金	1,199,663,126	1,199,663,126	0
投資有価証券	198,470,000	198,470,000	0
特定金銭信託	5,406,451,871	5,406,451,871	0
小計	6,855,546,106	6,855,546,106	0
(2) 特定資産			
什器備品	4,311,957	4,311,957	0
ソフトウェア	5,025,167	5,025,167	0
建物付属設備	2,841,553	2,841,553	0
小計	12,178,677	12,178,677	0
合計	6,867,724,783	6,867,724,783	0

6. 固定資産の取得価額、減価償却費及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
什器備品	27,487,924	23,175,967	4,311,957
ソフトウェア	17,166,200	12,141,033	5,025,167
建物付属設備	5,631,526	2,789,973	2,841,553
小計	50,285,650	38,106,973	12,178,677
その他固定資産			
ソフトウェア	3,326,669	3,326,669	0
什器備品	4,535,298	4,210,169	325,129
小計	7,861,967	7,536,838	325,129
合計	58,147,617	45,643,811	12,503,806

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
指定寄付金の使用による振替額	188,249,725
合計	188,249,725

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、内容の記載を省略しております。

財産目録
2025年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	預金	普通預金	公益目的事業の運転資金として	10,080,418	
		普通預金	管理活動の運転資金として	1,077,372	
		当座預金	公益目的事業の運転資金として	3,445,080	
		当座預金	管理活動の運転資金として	3,445,080	
		手元保管（切手等）	管理活動に供する貯蔵品	16,280	
		流動資産合計			18,064,230
(固定資産)	基本財産	預金	普通預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	24,282,665
		普通預金	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	26,678,444	
		当座預金	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	405,481,176	
		当座預金	管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	794,181,950	
	投資有価証券	社債	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	99,235,000	
		社債	管理活動財産として運用益を管理事業に使用している	99,235,000	
	特定金銭信託	債券	公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に使用している	2,703,225,935	
		投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	2,703,225,936	
	特定資産	債券	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	2,703,225,936	
		投資信託	管理活動財産として運用益を管理活動に使用している	2,703,225,936	
		什器備品	フィルム、展示品	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	1,186,073
		什器備品	壁面収納、テーブル、複合機	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	3,125,884
	その他固定資産	ソフトウェア	ウェブサイト制作	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	5,025,167
		建物付属設備	千代田区神田和泉町1-1	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	2,841,553
		照明工事、電気工事、床工事	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	2,841,553	
		什器備品	絵画、像、フィルム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している	325,125
		什器備品	カメラ、ビデオカメラ、プロジェクター、チェア	法人管理財産であり、法人管理活動に使用している	4
固定資産合計			6,868,049,912		
資産合計			6,886,114,142		
(流動負債)	未払金	委託費、給料等に対する未払金等	公益目的事業、法人管理活動に供する備品購入等の未払い分	17,920,382	
	預り金	源泉税預り金	公益目的事業、法人管理活動に供する預り金	143,848	
流動負債合計			18,064,230		
固定負債合計			0		
負債合計			18,064,230		
正味財産			6,868,049,912		